

# 寸胴

Zun Dō

NO. 63 2020 Autumn



ISSN 0915 8960

図書館ホームページ URL: <https://www.lib.gifu-u.ac.jp>

## 目次

鷗外と岐阜	1
岐阜大学の古典籍(3)	
—飛騨高山で生まれた『竹取物語』研究書—	4
寄贈図書一覧(2020年1月～6月)	5

レポート作成に役立つ図書館の使い方	
—文献の探し方編—	6
お知らせ	8

## 鷗外と岐阜



### 林 正子

近代日本を代表する文豪のひとり、森鷗外(本名: 森 林太郎)(1862～1922)と岐阜のゆかりとは――。

鷗外は岐阜県で生まれたわけでもありませんし、親戚縁者がいたわけでもありません。また、陸軍軍医総監にまで上り詰めた軍医としてのキャリアにおいて、岐阜県に勤務した履歴があるわけでもありません。残念ながら、岐阜県を直接の舞台とする鷗外作品があるわけでもありません。

しかしながら、鷗外とその一族によって信頼され敬愛された一人の有為の青年が、岐阜県出身であつ

たということ、そしてその青年がモデルとして登場する、鷗外作品のヒロインの墓が岐阜市内の寺にあるということ、そのことを、「鷗外と岐阜」のゆかりとしてご紹介したいと思います。

明治12(1879)年、大久保栄(おおくぼ・さかえ)は、岐阜県揖斐郡の村に上田又右衛門の次男として生まれ、大野町の医家・大久保肇の養子となりました。明治34(1901)年、彼は第一高等学校大学予科第三部医科を卒業し、東京帝国大学医科大学に学びます。医科大学生時代の久保栄を鷗外に推挙したのが、訳詩集『海潮音』(1905)で知られる英

文学者・上田敏（1874～1916）でした。鷗外と同様、医学の道を行んだ大久保栄が、文学においても卓抜なセンスを発揮していたことがうかがえます。

明治 37（1904）年 3 月 22 日、鷗外が第二軍軍医部長として日露戦争に出征した翌日、大久保栄は、鷗外の留守宅「観潮楼」（東京本郷区駒込千駄木 21 番地）に転居し、独協中学に通っていた鷗外の長男・於菟の指導・監督を務めることになりました。鷗外の一族——母・峰子、末弟・潤三郎、長男・於菟、妹・小金井喜美子、喜美子と小金井良精の長男・良一らと家族同様の交わりをもち、良一の妹・田鶴子とは結婚の話も出ていたほどでした。

森家において大久保栄がかけがえのない存在であったことは、鷗外の母・峰子の当時の日記（山崎國紀・編『増補版 森鷗外・母の日記』三一書房 1998 年 4 月）に彼の名前が毎日のように登場していることからもうかがえます。

明治 39（1906）年 1 月 12 日、大久保栄は、日露戦争から凱旋した鷗外を潤三郎や於菟とともに新橋駅で迎え、その半年後、東京帝国大学卒業式で首席卒業の証書と恩賜の銀時計を授与され、卒業生総代として鷗外起草の謝辞を述べています。

卒業と同時に、ドイツとフランスに 4 年間の国費留学を命ぜられた大久保は、ストラスブルグ、ミュンヘン、パリに滞在し、衛生医療研究に従事しました。パリ滞在中にはイギリスにおける癌腫研究所の調査にも携わっています。

病理学者として洋々たる前途を囑望されていた大久保栄は、帰国の予定であった明治 43（1910）年 6 月 11 日、パリ・パスツール研究所にて腸チフスのため急逝。すでに陸軍軍医総監となっていた鷗外は、この有為の青年の留学先での夭逝を深く悼み、彼の人生と才能の証を残し伝えるべく、遺稿刊行など思いつく限りの対応をしています。峰子もまたその日記に、大久保栄の養父である揖斐郡大野町在住の大久保肇に宛てて書状を送ったことや、彼の遺品

の整理をしたことを記し、森家の家族同様であった栄への哀惜の情を綴っています。

一昨年、平成 30（2018）年、大久保家の子孫である大久保映子氏宅で、日露戦争従軍中の鷗外から大久保栄に宛てられた 2 枚の葉書（『鷗外全集』未収録）や、鷗外との繋がりを示す書簡など、合わせて 500 点に上る大久保栄の遺品が確認されました。「中日新聞」平成 30（2018）年 12 月 3 日（月）第 1 面に、「鷗外 若き友へ句歌」「岐阜・大野で絵はがき発見」と題しての小倉貞俊記者による記事が掲載されています。

私自身、この 2 年間、名古屋在住の 3 名の研究者とともに、『文京区立森鷗外記念館所蔵 森鷗外宛書簡集 3（う - お）編』（2020 年 11 月）刊行に向けての解説・解説作業に携わってきました。森鷗外記念館所蔵の鷗外宛書簡のうち「う」「え」

「お」の発信者名は 27 人、92 通に上ります。大久保栄から戦地の鷗外に宛てての 3 枚の葉書も含まれています。森家一族によって愛された才人、大久保栄の親族宅において、鷗外から大久保栄に宛てての葉書 2 枚が、一世紀を経て新たに発見されたことに、深い感慨を覚えないではられません。鷗外が共感と愛惜の情を注いでやまなかった若き有為の人、大久保栄との絆が、その心情のこもった言葉の往還の軌跡に確かなかたちで浮かび上がってくるからです。

鷗外は、大久保栄が亡くなった翌月、小説『花子』（「三田文学」第 1 巻第 3 号 明治 43 年 7 月）を発表しました。400 字詰め原稿用紙に換算すると 17 枚に満たない短編ですが、当時ヨーロッパで活躍していた日本の女優・花子が、通訳・久保田医学士とともに、彫刻家オーギュスト・ロダンのアトリエを訪ねた折のできごとが活写されています。花子をロダンに紹介する久保田医学士こそ、大久保栄を想起させる人物です。

岐阜市在住の中川満氏は、先述した大久保映子氏

および大久保栄の実家の子孫・上田保昭氏と大野中学校の同級生であった縁で、大久保家の所蔵資料を閲覧し、『明治近代日本人留学生の青春コロニー 森鷗外『花子』 医学士久保田某の研究 《実像としての大久保栄》』（私家版）を公表しています。中川氏は、大久保栄の詳細な年譜をまとめるとともに、『花子』の「久保田某」が大久保栄であることを指摘し、現実の大久保栄の非業の死が鷗外の創作動機となったことを論じています。次の URL で中川氏による大久保栄に関する充実した資料をどうぞご堪能ください。<https://www.ohkubosakaye.com/>

ちなみに、私自身もかつて「森鷗外『花子』における〈生命〉の〈美〉——その体现者・発見者・創造者をめぐって」（「岐阜大学地域科学部研究報告」第3号 1998年9月）という論文を執筆しました。鷗外の短編小説『花子』が、生命主義の渦巻く時代潮流のなか、〈生命〉そのものの〈美〉を体现した花子、その〈美〉を発見したロダン、そして、そのロダンの〈生命〉を謳う芸術観を評価し、その〈美〉を短編小説として創造した鷗外による三位一体の芸術作品であることを論じています。「岐阜大学機関リポジトリ」として次の URL に掲載されていますので、ご関心をもっていただけましたら、どうぞご覧ください。

<https://repository.lib.gifu-u.ac.jp/bitstream/20.500.12099/4442/1/KJ00004182465.pdf>

この論文にも記しましたが、花子の本名は太田ひさ。明治元（1868）年4月15日、愛知県中島郡祖父江村（旧・尾西市上祖父江、現在の一宮市西部）の旧家に3男5女の長女として生まれ、波乱万丈

の人生を送った女性です。明治34（1901）年5月末、コペンハーゲン博覧会の踊子として渡欧し、仕事を終えた後も帰国せず、明治37（1904）年、デュッセルドルフ博覧会での公演を皮切りに、腹切り物の「武士道」でドイツ巡業を果たします。続いて、ロンドンで独立興行を旗揚げし、英国各地を巡業。明治38（1905）年、ロンドンのサヴォイ劇場に出演し、座頭となって北欧から南欧まで巡業。明治39（1906）年、マルセイユでの興行の折にロダンと邂逅。鷗外の『花子』にロダンと花子の出会いが描かれました。明治40（1907）年から翌年にかけてのアメリカ巡業こそ不評だったものの、オーストリア・ドイツ・東欧での興行は大成功。第一次世界大戦の折には、ロダン夫妻とともにロンドンへ避難しています。

花子は大正10（1921）年に帰国。ロダンが花子をモデルにした作品（彫像）は約60点あり、そのうち2点を花子は日本に持ち帰っています。帰国後は、実妹の経営していた岐阜市西園町の芸者置屋「新駒屋」で生活し、昭和20年4月2日に亡くなりました。享年77歳。花子の墓は、岐阜市鶯谷町の浄土寺にあります。

揖斐郡出身の大久保栄と岐阜市に眠る花子のエピソードをとおして、「鷗外と岐阜」のゆかりを味わっていただければ幸いです。

（ 林 正子 : 副学長・図書館長  
地域科学部教授 ）



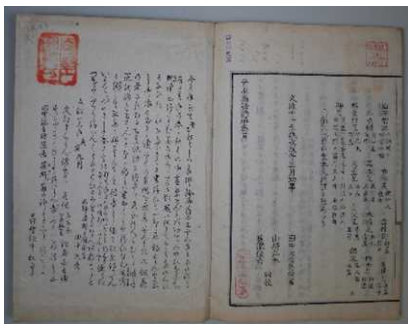
## 岐阜大学の古典籍（3）－飛騨高山で生まれた『竹取物語』研究書－

教育学部国語教育講座准教授 小川 陽子

子供から大人まで誰もが知る古典といえば、かぐや姫の物語すなわち『竹取物語』でしょう。江戸時代、その『竹取物語』を本格的に研究したのが、飛騨高山の国学者・田中大秀でした。

田中大秀（1777～1847年）は、飛騨高山で薬種商を営む旧家に生まれました。大秀が高山に深い思いを抱いていたことは、今回ご紹介する『竹取翁物語解』において「飛騨高山 田中大秀著」と自ら記したり、同書の序文冒頭で「飛騨国高山里田中大秀」と紹介されたりしていることからもうかがわれます。『竹取物語』や『土佐日記』『紫式部日記』などの古典文学の研究に努めたほか、飛騨総社の再興や、美濃養老の滝に関する論考『養老美泉弁』の執筆など、地域とかかわる活動も広くものし、高山を中心に多くの門人を養成しました。

大秀の代表的著作として知られるのが『竹取翁物語解』です。同書は『竹取物語』の諸説を集成・統一し、さらに大秀の見解を示したものです。大秀は文化7（1810）年ごろには『竹取物語』研究を開始したようで、その軌跡は、『竹取翁物語解』の草稿本や、小山儀『竹取物語抄』への大秀自説書き入れなどによって具体的に辿ることができます。大秀の『竹取物語』研究資料の多くは幸い現在まで伝わっており、飛騨高山まちの博物館に多数所蔵されています（『田中大秀』第1巻〈2001年・勉誠出版、岐阜大学図書館請求記号：918.5/Tan〉に収載）。そんな長年の研究成果を出版物として世に送り出したのが、『竹取翁物語解』でした。『竹取物語』そのものはわりあい短い物語ですが、『竹取翁物語解』は首巻1冊と注釈5巻5冊の計6巻6冊で構成されていることから明らかにおり、その注は詳細なものです。同書は、文政13（1830）年に出版、翌天保2（1831）年に早くも再版、さらに近代に入ってから、明治28（1895）年に出版されたり『国文学註釈叢書』（1930年、名著刊行会）や『日本文学古註大成』（1934年、国文名著刊行会）に収載されたりしました。近年も『新日本古典文学大系 竹取物語・伊勢物語』（1997年、岩波書店）にその一部が付録として添えられています。大秀の研究は、江戸時代はもちろん、近現代にいたるまで、重視され続けてきたということです。



岐阜大学には、天保2年版の6冊揃い本（整理番号913.31 - 1.1～6 - 53601）と、刊年不明の端本1冊（整理番号913.31 - 18.2 - 5304）の2種が所蔵されています。このうち天保2年版は、興味深いことに、第1冊目（首巻）の末尾に1枚の貼り紙（左写真）があります。この貼り紙は、文政13年9月に大秀が本居宣長の三十三回忌に向けて歌と文章を募集したものです。宣長は、この貼り紙はじめに「我師鈴屋翁」とあるとおり、大秀の師でした。『竹取翁物語解』も、「凡て

の物語書よむころばへのこと吾師本居鈴屋大人（＝本居宣長）の源氏物語の玉の小櫛といふ書に甚委しう云れたり」という一文から始まっており、宣長の学問を色濃く受け継いで成立した注釈書です。岐阜大学本は、宣長から学んだことを注ぎ込んだ注釈書に、宣長追悼企画の募集文が貼られているというわけです。この貼り紙については、次回詳しく見ていくことにします。

## 寄贈図書一覧（2020年1月～6月）

2020年1月～6月に図書館にご寄贈いただいた図書の中で、本学教職員が著作・編集・刊行等に関係した図書を掲載します。ご寄贈いただき、ありがとうございました。

### ●牧 秀樹（地域科学部）

- ・関係詞(英語 monogrammar, vol.1) ・比較(英語 monogrammar, vol.2) ・準動詞(英語 monogrammar, vol.3)  
/ お茶の水ゼミナール英語科著, 牧秀樹監修, 開拓社, 2020.4 【図本館3階 835||Oty】

～内容紹介～

本英文法シリーズ(①関係詞・②比較・③準動詞)は、各々1つの文法項目に焦点を当て、「英語を作る」力を伸ばすよう設計された参考書・問題集。文法理論の観点から文法を解説し、母語話者のように英語を作る練習をします。

### ●向井 貴彦（地域科学部）

- ・岐阜県の魚類 第二版  
/ 向井貴彦編著, 岐阜新聞社: 岐阜新聞情報センター出版室, 2019.12  
【図本館3階 487.5||Gih】

～内容紹介～

2017年に出版した「岐阜県の魚類」の第二版です。初版の後に県内で確認された魚種を追加し、分類の変更も反映。コラム1編と写真18枚を追加。多くの改良も加えることで、より一層充実した内容になっています。

### ●大谷 具幸（工学部）

- ・地中熱利用技術ハンドブック: 地下の未利用再生可能エネルギー活用技術全集  
/ 地下水・地下熱資源強化活用研究会(AGREA)編著, NPO法人地下水・地下熱資源強化活用研究会, 2020.3  
【図本館3階 533.6||Ttk】

～内容紹介～

地中熱利用の最新の研究開発成果を知るのに最適な本であり、次世代の再生可能エネルギーに興味がある方々にお勧めします。導入事例や経済性評価、法令と自然環境への影響についても解説をしています。

※内容紹介は著者または編者本人による



\*-\*

## レポート作成に役立つ図書館の使い方（文献の探し方編）

図書館を使ってみたいけれど、実のところどう使えばいいのかわからない…

レポート提出期限間際に、資料が見つからなくて焦ったことがある…

こんな悩み事、ありませんか？

図書館の利用に慣れた方はもちろん、図書館で困ったことのある方にも

是非ご一読いただければと思います。

☆シラバスに指定された図書や、似たような図書が探したい

→岐阜大学図書館のホームページの、岐阜大学図書館蔵書検索 OPAC にキーワードを入力し、その本を検索してみましょう。本の所在と請求番号が表示されます。

例:線形代数学 で検索。

“線形代数学. 新装版” を例に説明します。

(QR コードから実際の検索画面を開くことができます。)



(所在:図本館シラバスコーナー, 図書 ID:112955771, 請求記号:411.3 Kaw)

<http://opac.lib.gifu-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB03145496>

所在→シラバスに指定されている図書のため、シラバスコーナーに配架してあります。

請求記号→その図書が属する分野を表す番号になります。400 番代は自然科学分野となります。

シラバスコーナー→シラバスに選ばれた図書を分野順に配架したものになります。

それ以外の図書は、基本的に、3 階の本棚に分野順に並べられています。

年代が古い図書等は、1 階の本棚に分野順に並べられていることが多いです。

その他にも、

- ・ OPAC の下の方に、類似図書として表示されたものを選択してみる
- ・ 400 番代の棚で図書のタイトルを見比べてみる
- ・ 同じ著者の図書を探す

などの方法があります。

- ・ なお、請求番号の下に記入されているアルファベットは、著者の氏名の頭文字になります。
- ・ 同じ分野について同じ著者の図書を探したい場合は、請求記号と同時にアルファベットも同じものを探すのもおすすめです。

※利用したい図書が学内に所蔵されていない場合

→有料（図書の往復送料実費）かつ原則図書館内での利用になりますが、他の大学等から借りて利用することも出来ます。My Library から ILL のお申し込みをお願いいたします。

☆授業や教科書内で一部分が登場した論文を、全文読んでみたい

→論文が掲載されている雑誌名や著者、巻号やページ数が判明している場合は、図書館の OPAC で雑誌名を検索してみましょう。

例: “The journal of physical chemistry” を例に説明します。

（QR コードから実際の検索画面を開くことができます。）



（所在: 図本館自然科学系 所蔵年次: 1953-1996 所蔵巻号: 57-65, 66(1, 3-12), 67-100)

<http://opac.lib.gifu-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/AA00704789>

所蔵している場合、所在欄は、本館～ や、医図雑誌といった記載になっております。雑誌は必ずしも全巻所蔵しているわけではないため、希望する巻の記載があるか、確認するようにしてください。

該当する巻が所蔵されている場合は、1.2 階にある分野別の雑誌棚を確認してください。雑誌と図書は棚の場所が分かれているので、注意してください。

雑誌の探し方→本文が英語等で記載されている”洋雑誌”については、アルファベット順になります。

雑誌は借りられませんが、基本的に、論文の全文コピーができます。

コピーを希望する場合はカウンターの職員にお声がけください。

☆論文の所蔵が岐阜大学に無さそう、あるいは、論文タイトルや著者しかわからない

→学内に所蔵していない論文の入手を希望する場合は、有料になりますが（複写料金+送料の実費）、図書館側で所蔵先を確認して入手することができます。カウンターにてご相談ください。

レポート作成に使う学術書以外にも、外国語学習用の教材やシラバスに掲載されている教科書、新聞各紙や雑誌等、岐阜大学図書館には様々な情報媒体が所蔵されています。

課題や研究以外にも、ドラマや漫画、ゲームで見かけたあの話の原典が知りたい、など、身近な疑問の解決にも、是非ご利用いただければと思います。

## /// お知らせ ///

### 図書館講習会の開催について

岐阜大学図書館では、毎年、春（5月～6月）と秋（10月～11月）に資料の探し方や文献検索などのさまざまな講習会を行っています。

日程が決まり次第図書館 Web サイト等でお知らせいたしますので、積極的な受講をお待ちしております。

学習や研究に、是非お役立てください。

### コロナ禍期間の図書館：郵送貸出の利用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面授業からオンライン授業への切替が進んでおります。来学の機会が無いが図書を利用したい……そんな希望に対応し、後期も郵送貸出を実施します。

詳細につきましては、岐阜大学図書館ホームページ>お知らせ>[本館] 学生へ図書の郵送貸出を行います（2020.6.4更新）をご確認ください。

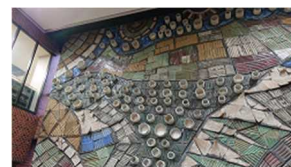
<https://www.lib.gifu-u.ac.jp/info/entry18-762.html>

なお、来学が難しい場合は、郵送での返却が可能です。（ゆうメール・ゆうパック等で返送していただきます。送料のご負担をお願いします。）



#### 【タイトル「寸胴」について】

図書館エントランスホールにある陶壁画「寸胴譜」（作：九谷興子 1911-1998）は、陶器の原型「寸胴」を学生や若い研究者になぞらえ、社会への飛躍をイメージした作品で、図書館報のタイトルはそこから採っています。



岐阜大学図書館報「寸胴」第63号 2020年10月31日

編集・発行 岐阜大学図書館（学術情報課）

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 ☎058-293-2184